

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 19 日

評価対象事業	健福 - 25	シルバー人材センター支援事業	☐ 法定受託事務	
所管課	健康福祉部 高齢者支援課		評価者 高齢者支援課長 寺山 明	
一般	会計	款 15	項 5	目 25
総合計画上の位置付け	分野名	健康福祉	施策の方針名	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	就業を希望する高齢者	意図	働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。
効果	高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業（事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	シルバー人材センターへの運営費等の補助	シルバー人材センターへの運営費等の補助	シルバー人材センターへの運営費等の補助
予算額（千円）	33,619	35,332	
国県支出金			
地方債			
その他	7,003	7,003	
一般財源	26,616	28,329	0
当初人員配置数	12.0	12.0	0.0
人件費（千円）	95,288	83,892	0
事業実績	シルバー人材センターへの運営費等の補助		
決算額（千円）	32,892		
国県支出金			
地方債			
その他	7,003		
一般財源	25,889	0	0
人員配置実績数	13.0	0.0	0.0
人件費（千円）	93,875	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	シルバー人材センターへの補助金支出額		千円	25,559	－	25,832	
	実績につながる活動	シルバー人材センター助成事業の実施				25,832		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・補助事業の実施により、シルバー人材センターの活動を支援している。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結 果指標No （最大3つ）
					実績			
成1	シルバー人材センター会員数	人	482	↗	480			1
成2	鎌倉市シルバー人材センターの就業実人数 （月ごとの平均）	人	391	↗	376			1
成3	鎌倉市シルバー人材センターの平均就業率 （就業率：各月就業実人数÷各月登録人数）	%	76.5	↗	75.8			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・成果（活動による直接アウトカム）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・一定の就業率を維持している。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・シルバー人材センターの安定した運営に寄与することで、高齢者の社会参加を支援できている。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している	
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者	☐ なし
	有 効 性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない	
		事業費削減余地	☐ ある	☒ なし		
	効 率 性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない		
		公平 性	受益者負担	☒ 導入済	☐ 導入予定	☐ 導入できない
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り	☒ ① 事業内容は現状通りとする			
		☐ 事業内容は見直し済	⇒ ☐ ② 事業内容は見直す	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ その他
		☐ 事業を休止又は廃止済	☐ ③ 事業は休止又は廃止する			
		☐ 他事業と統合済	☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持	☒ ⑤ 予算規模は現状維持とする			
☐ 予算規模は拡大済		⇒ ☐ ⑥ 予算規模は拡大する				
☐ 予算規模を縮小済		☐ ⑦ 予算規模は縮小する				

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	勤労意欲のある高齢者に対し、生きがいと社会参加の機会を提供するシルバー人材センターを支援することは、健康寿命の延伸や地域の活性化につながるため、安定的な運営の支援を行うとともに、自立した運営に向けた支援などを行いながら引き続き事業を継続していく。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	シルバー人材センター事業実績 上段＝会員数、下段＝就業率（請負・委任における就業実人員÷会員数）（令和6年度実績）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	482人	2,446人	905人	1,989人	966人	1,182人	185人	－	226人
	90.5%	41.9%	64.8%	43.2%	59.1%	48.0%	54.6%	－	62.8%

比較事項	シルバー人材センター補助割合 上段＝経常収益（予算額）、下段＝経常収益に対する市補助金の割合（令和6年度実績）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	323,715,000	955,527,000	522,521,000	620,384,083	321,101,396	495,417,500	93,843,000	－	118,986,000
	8.20%	5.10%	5.52%	3.07%	4.59%	3.68%	8.11%	－	6.22%

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市と比べ就業率は高いが会員数が少ないため、事業収入が少なく自立した運営において課題がある。
----------------------	--